



ことしの「春の叙勲」の受章者が発表され、茨城県内では91人が受章しました。

このうち、社会のさまざまな分野で顕著な功績をあげた人に贈られる「旭日章」を受章するのは合わせて27人で、「旭日中綬章」が1人、「旭日小綬章」が8人、

「旭日双光章」が16人、「旭日単光章」が2人です。

また、公共の仕事に長年携わり功績をあげた人に贈られる「瑞宝章」を受章するのは合わせて64人で、「瑞宝中綬章」が2人、「瑞宝小綬章」が18人、「瑞宝双光章」が22人、「瑞宝単光章」が22人です。

「旭日双光章」を受章する取手市の久保田※キヨシさん（73）は茨城県弓道連盟の会長を務めています。

久保田さんは、弓道の称号として最も高い「範士」で、地元の弓道場をはじめ、全国各地で選手の育成に力を入れてきました。

久保田さんは「半世紀以上弓道をやってきたので、受章できたことはうれしいです。受章を契機に弓道をより多くの人たちに知ってもらいたい」と話していました。

※キヨシは「清」の「月」が「円」